



2023年12月13日

各 位

会 社 名：株式会社SK I Y A K I
代表者名：代表取締役社長 小久保 知洋
(コード番号：3995 東証グロース)
問合せ先：取締役 酒井 真也
(TEL. 03-5428-8378)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月16日に公表した2024年1月期（自2023年2月1日至2024年1月31日）の通期業績予想につきまして、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2023年2月1日～2024年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 2,601	百万円 257	百万円 280	百万円 223	円 銭 20.70
今回修正予想（B）	2,661	305	335	200	18.52
増減額（B－A）	60	48	55	△23	△2.18
増減率（％）	2.3	18.7	19.6	△10.3	△10.5
（ご参考）前期実績 （2023年1月期）	2,454	225	236	54	5.07

2. 修正の理由

前回発表の業績予想（2023年3月16日）に対し、ストック収益（ファンクラブサービス）及びフロー収益（ECサービス、MD及びイベント制作等）ともに実績が好調に進捗していることから、売上高は前回発表予想比で60百万円増加の2,661百万円となる見込みです。

営業利益については、売上高の増加に加え、売上原価である倉庫物流費用について、当初は期中における物流コストの増加・値上げなどを見込んでいたものの実際は想定よりも費用の発生を抑制できたこと、販売費及び一般管理費のうち広告宣伝費、販売促進費、人件費について、当初は保守的に費用を多く見積っていたものの実際は想定よりも減少傾向にあること、また、租税公課について、2024年1月26日開催の臨時株主総会による承認を前提とした資本金の額の減少（減資）により、外形標準課税に係る税負担が軽減される見込みであることなどから、前回発表予想比で48百万円増加の305百万円となる見込みです。

経常利益については、営業利益の増加に加え、持分法による投資利益の増加等の影響により、前回発表予想比で55百万円増加の335百万円となる見込みです。

また、特別損失（貸倒引当金繰入額等）36百万円の計上に加え、当該貸倒引当金繰入額を含む損金不算入項目の増加及び繰延税金資産の取り崩し等による法人税等の増加により、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想比で23百万円減少の200百万円となる見込みです。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上